

経営比較分析表（平成28年度決算）

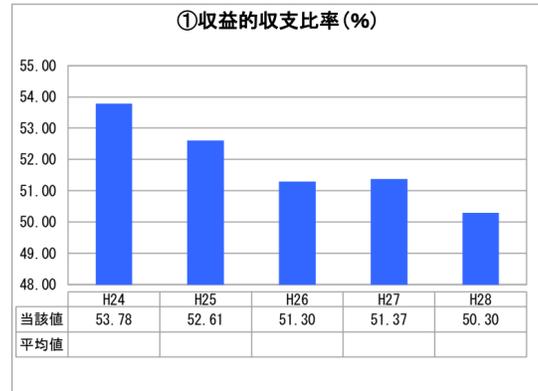
千葉県 長柄町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F2 | |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 12.12 | 100.00 | 3,780 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 7,254 | 47.11 | 153.98 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 871 | 0.52 | 1,675.00 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 | 平成28年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



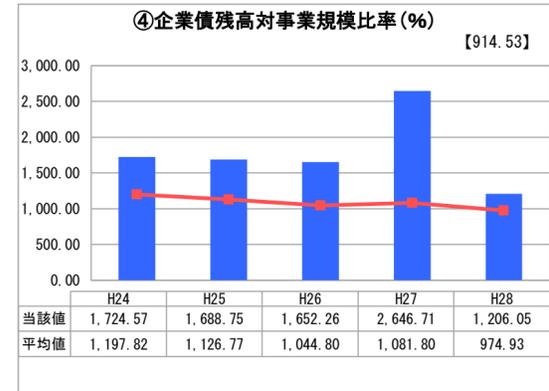
「単年度の収支」



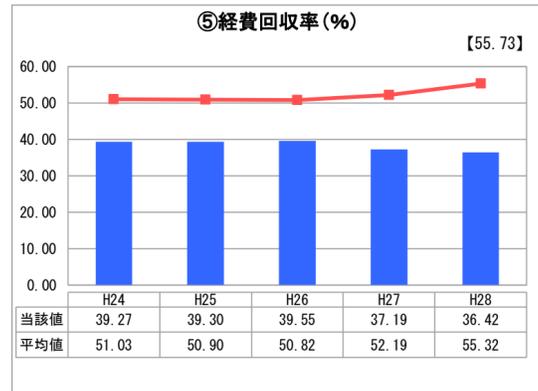
「累積欠損」



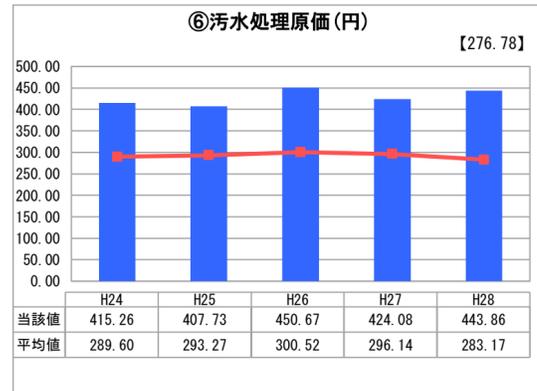
「支払能力」



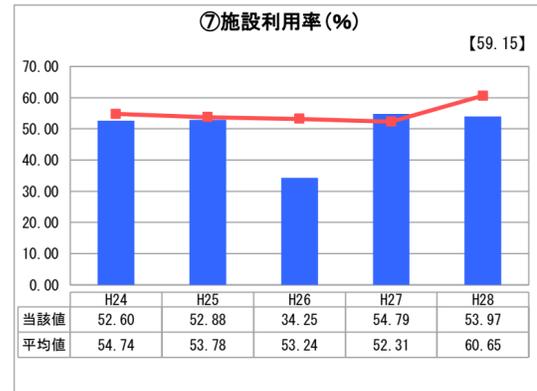
「債務残高」



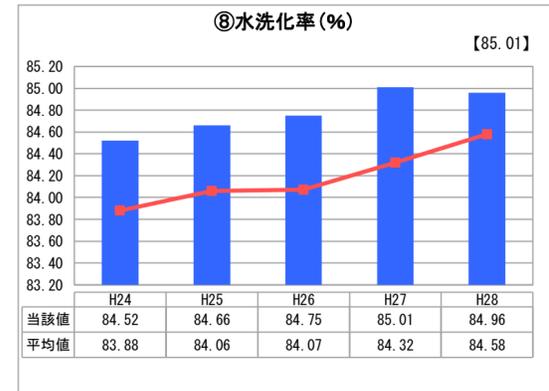
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

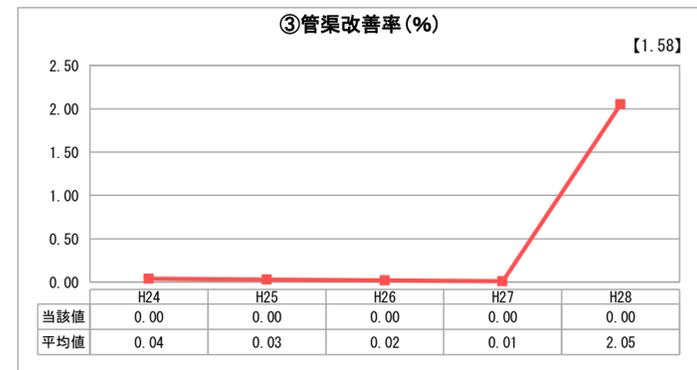
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について、比率が100%未満であり、かつ年々減少傾向にある。
 ②経費回収率について数値はほぼ横ばいで推移しているが、いずれも平均を下回っている。平成28年度については、ここ数年と比較しても低い数値が出た。
 ③施設利用率について年毎で推移は見られるが、平均前後の数値で推移している。
 ④水洗化率について微増加傾向にあり平均以上の数値を維持している。

2. 老朽化の状況について

平成32年度までに機能強化計画の策定及び実施を行いたい。
 平成9年に供用開始をし、20年間交換していない部品があることも十分に考えられることから、計画策定時に熟考したい。

全体総括

①収益的収支比率について、比率が100%未満であり、かつ年々減少傾向にある。
 ②経費回収率について数値はほぼ横ばいで推移しているが、いずれも平均を下回っている。平成28年度については、ここ数年と比較しても低い数値が出た。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。